

文政小 第18号

学校便り
文責
生田 文明

人権月間の取組



急に寒くなり、北海道や東北地方では、大雪となり、今年の冬は、寒くなるのではと心配しているところです。また、市内の小学校では、インフルエンザが流行しはじめ、今週から学級閉鎖となったところもあります。手洗い、うがいなど健康管理を徹底させながら、二期期のまとめを今、行っているところです。

さて、本校では、十一月二十五日から十二月二十五日までを人権月間として位置づけ、部落問題をはじめとする様々な人権問題について正しく理解し、差別をなくしていくなかまづくりを行うことをねらいとして、取組を行っているところです。

◎授業研究会



八代地区の小中高등학교から、約五十名の先生方が来校され、「課題を負わされた子を中心に据え、互いに認め、支え合う仲間づくりを目指して」のテーマもと、二年生「くっかくし（ななまづくり）」、四年生「わたしはさびしさに負けない（くらしと労働）」、六年生「手紙をくれたあなたたちへ（部落問題学習）」の授業と授業研究会をおこないました。授業・授業研究会を通して、参加していただいた先生方から、「自分たちの課題に真剣に向き合い、互いに認め合い支え合う児童の姿



授業研究会の様子



授業参観の様子

を見ることができた。」「児童の絆・ななまづくりには、児童が安心できる心の居場所づくりや互いの違いを認め合う学級づくりが大切である。」ことなどを教えていただきました。今後の教育活動を行う上での礎を確認できた授業研究会でした。

◎授業参観



四日（水）は、二期期末の授業参観・学級懇談会にたくさん保護者の皆様にご多用の中参加していただき、誠にありがとうございました。お子さんの様子はいかがでしたでしょうか。

今回の授業参観では、全学級が人権教育に関する授業を学活や道徳で行いました。一年生「さるとかに」、二年生「ふわふわ言葉とちくちく言葉」、三年生「食べることは生きること」、四年生「げんたの消しゴム」、五年生「わたしは強く生きる」、六年生「ロレンゾの友達」「手紙をくれたあなたたちへ」それぞれの題材の主人公の思いや考えを自分や自分の生活、クラスの様子と重ね合わせ、しっかりと考え、自分の思いを伝え、みんなで考え、学ぶ

◎児童会の取組

児童会では、「笑顔で学校生活が送れるように」を議題とし、代表委員会で話し合いをしました。その結果①ちがう学年の人と遊ぶ日を作っ



1-2と6-2 手つなぎ鬼



5-1 授業の様子



3-1 授業の様子



1-2 授業の様子

て、楽しく遊ぶ。②毎日取り組むこととして、「さん」「くん」を付けて呼ぶ。」「友達と助け合う。」「友達のいいところを見つめる。（にこりちゃん大作戦）一月実施。」を行うことが決めました。①は、なかよしウィークとして、ペア学年での遊びを昼休みに実施しているところです。

地域とともにある学校

地域と学校が連携・協働して、学校の教育目標達成、及び学校の課題解決を図るために、今年度、五回の準備委員会を経て、十月に「文政っ子応援協議会」が発足しました。

応援協議会には、下部組織として、学習・環境・安全の三つの学級サポート部会があります。現在、学校教育目標達成のために授業と連携した様々なサポートが行われ、子供たちの学習・学習環境・安全を支えています。



安全サポート（安全マップづくり）



環境サポート（野菜づくり）



学習サポート（書写支援）